

愛知県労働者の自殺防止対策事業
職場におけるメンタルヘルス対策取組実態調査

－調査報告書－

平成 2 3 年 3 月

愛知県

はじめに

わが国の自殺者総数は、平成 22 年も 3 万人を超え、平成 10 年から 13 年連続で 3 万人超という高水準で推移しており、また愛知県の自殺者数は、1,500 人前後で推移をしている。自殺者のうち、労働者は約 3 割程度を占めており、県内では毎年 500 人前後の労働者が自殺で亡くなっている。

一方、近年の労働者を取り巻く環境をみると、経済・産業構造が変化する中で、労働者がストレスを受けやすい環境となっており、仕事や職業生活に関して強い不安や悩み、ストレスを感じている労働者が増えてきている。その結果、うつ病など精神障害による労災請求件数は平成 21 年度で 1,136 件となっており、この 10 年で 5 倍以上になっている。労働者の自殺の背景には、このようなストレスを受けやすい社会環境も影響していると考えられる。

そのため、労働者の自殺を防止していくためには、職場における労働者の心の健康の保持増進（メンタルヘルス対策）を図ることが重要な課題となっており、企業にその対応が求められるようになってきている。

そこで、本県における労働者の自殺防止対策を取り巻く現状や動向、課題等を、事業所と労働者の両面からアプローチして明確にするとともに、課題解決に向けた糸口を探り出し、今後の自殺防止対策に向けた効果的な施策展開の方向性を導き出すことを目的として実態調査を実施した。また、自殺防止対策には、家族との連携も不可欠であることから、労働者の家族に対しても実態調査を実施した。

調査に際しては、産業医や保健師、社会保険労務士など当該分野の専門家からなる「愛知県労働者の自殺防止対策事業」有識者会議より、調査の実施手法や内容及び結果の分析等に指導・助言を受け実施した。

目 次

はじめに

I 事業所における取組調査	1
■ 事業所における取組調査まとめ	1
■ 事業所における取組調査の詳細	6
1. 回答者属性	6
2. 事業所における従業員のメンタルヘルスの現状	7
3. 事業所におけるメンタルヘルスの取組実態	17
4. 行政への要望	41
5. 健康管理に対する取り組み	42
6. 労働災害防止対策について	54
7. 安全衛生活動の実施状況について	64
II 労働者の実態調査調査結果	68
■ 労働者の実態調査まとめ	68
■ 労働者の実態調査の詳細	73
1. 回答者属性	73
2. 労働者を取り巻く職場の状況	75
3. 労働者の健康・ストレス状況	80
4. 職場での心の健康づくり対策	97
5. 行政への要望	106
6. 職場環境別精神的ストレスの状況	107
7. 労働時間別精神的ストレスの状況	111
8. 職種別精神的ストレスの状況	115
9. 4つのケアの認知度別労働者の実態	116
III 家族から見た労働者の実態調査調査結果	119
■ 家族からみた労働者の実態調査まとめ	119
■ 家族からみた労働者の実態調査の詳細	121
1. 回答者属性	121
2. 家族からみた労働者の状況	122
3. 職場・行政への要望	130
IV 調査の概要	132
1. 調査の目的	132
2. 調査方法	132
3. 従業員規模別、産業別の抽出率	132
4. 調査結果の見方	133